

## 関東大震災朝鮮人虐殺 100 年

### 虐殺犠牲者の追悼と責任追及の行動への参加・賛同の呼びかけ

2023 年 9 月 1 日、関東大震災から 100 年を迎えることとなりました。相模湾北部を震源とする地震は、首都圏を中心に関東南部を襲い死者 10 万 5000 人ともいわれる未曾有の被害をもたらしました。多くの日本人にとって 9 月 1 日は防災の日として広く知られています。

しかし、私たちはこの災害の混乱の中で戒厳令が公布され流言蜚語の拡散により多くの朝鮮人が、軍隊や警察、民間人によって組織された自警団によって殺害された事実を忘れてはなりません。

中央防災会議は報告書によると「広範な朝鮮人迫害の背景としては、当時、日本が朝鮮を支配し、その植民地支配に対する抵抗運動に直面して恐怖感を抱いていたことがあり、無理解と民族的な差別意識もあったと考えられる」と記載されています。その主たる原因が植民地支配にあったことも明らかです。山田昭次立教大学名誉教授が当時の記録を基に再計算した朝鮮人犠牲者は、6,644 人とされていますが、官庁記録でさえ朝鮮人虐殺被害者数は 487 人となっています。

中央防災会議の報告書も、虐殺された犠牲者数は死者 10 万 5000 人の内の 1% から数% と記載しています。当時も含めて日本政府によって詳細な調査が行われた記録はなく、犠牲者数を確定することはできません。2003 年 8 月には、日本弁護士連合会が虐殺目撃者・文成仙さんの訴えに基づき調査を行い、日本政府に対して責任を認め謝罪し真相を調査するように勧告しましたが、政府は無視をしてくれました。

2017 年以降、小池百合子東京都知事は、9 月 1 日に行われる朝鮮人犠牲者追悼式への追悼文の送付を止めています。また、今年になって朝鮮人虐殺を作中で扱った美術家の飯山由貴さんの作品が、東京都によって上映中止に追い込まれる事件も発生しました。都の職員は「東京都では、この歴史認識（日本人が朝鮮人を虐殺した事実）については言及していない」と主催団体に述べたとされています。これらの歴史修正主義の動きは日増しに高まっており官民が一体となって歴史を歪曲しています。

このような背景には、いまだ存在する植民地主義と差別意識があります。外村大東京大学大学院 教授は、朝日新聞紙上で、朝鮮人虐殺は「これはゆるぎない歴史の事実」とありとして、「虐殺の否定は先人への冒瀆」と述べ、「植民地時代から続く、日本人は韓国・朝鮮人より上に立つ存在だ」という意識が影響しているように思います」と、いまだ日本人がぬぐい切れない差別意識に言及しています。

私たちは、これまでも在日朝鮮人に対する差別との闘いを、在日朝鮮人の皆さんとともに進めてきました。特に、朝鮮高校の授業料無償化からの排除、幼保無償化からの朝鮮幼稚園の排除、さらには朝鮮大学の「学生支援緊急給付金」制度からの排除など、在日朝鮮人の

児童生徒などへの差別は、いまだ解消できていません。この事実は、現在の在日朝鮮人社会への差別としっかりとつながっています。私たちは、この在日朝鮮人への言われぬ差別を払拭し、いまだにはびこる植民地主義を乗り越えなくてはなりません。

関東大震災・朝鮮人虐殺事件から 100 年を迎える今、犠牲者を追悼するとともに、在日朝鮮人の仲間の皆さんと一緒に手を取り、差別と偏見をもって歴史事実を削除しようとする現状を打破していこうではありませんか。私たち実行委員会は、多くの方々と連帯し下記のとりのくみを通じて、日本政府の責任を追及し謝罪と調査、さらには補償、賠償を実行させていきたいと思ひます。真の「多民族・多文化共生社会」の実現に向けて、多くの仲間の実行委員会への参加と賛同を呼びかけます。

2023 年 1 月 25 日

関東大震災朝鮮人虐殺 100 年－虐殺犠牲者の追悼と責任追及の行動実行委員会

呼びかけ人 板垣竜太（同志社大学 教授）

（50音順） 金性済（キム・ソンジェ）（日本キリスト教協議会 総幹事）

西崎雅夫（一般社団法人ほうせんか 理事）

河秀光（ハ・スガン）（朝鮮人強制連行真相調査団 事務局長）

平岡秀夫（弁護士・元衆議院議員 第 88 代法務大臣）

藤野正和（日本朝鮮学術教育交流協会 会長）

藤本泰成（フォーラム平和・人権・環境 共同代表）

前田朗（東京造形大学 名誉教授）

とりくみ（案）内容については実行委員会で議論を行う

- ① 実行委員会の議論を基に、2023 年 9 月までに学習集会・フォールドワークの開催
- ② 朝鮮人虐殺の事実と、歴史的意味、日本政府の責任、現在の植民地主義による差別を明らかにするブックレットの作成、広く情宣するためのパンフレットの作成
- ③ 日本政府に対する、謝罪と詳細な調査の要請
- ④ 追悼式典等への参加と主催集会の開催および記者会見実施（以下予定、会場は事前に押さえています）
  - 2023 年 9 月 1 日（金）14 時 追悼式典への参加（都立横網町公園朝鮮人犠牲者追悼碑前、朝鮮人強制連行真相調査団・朝鮮総連東京都本部主催）
  - 2023 年 9 月 1 日（金）18 時 追悼集会（銀座ブロッサム中央会館）
  - 2023 年 9 月 2 日（土）14 時 責任追及国際シンポジウム（联合会館大会議室）